

第2章 南九州市の現況

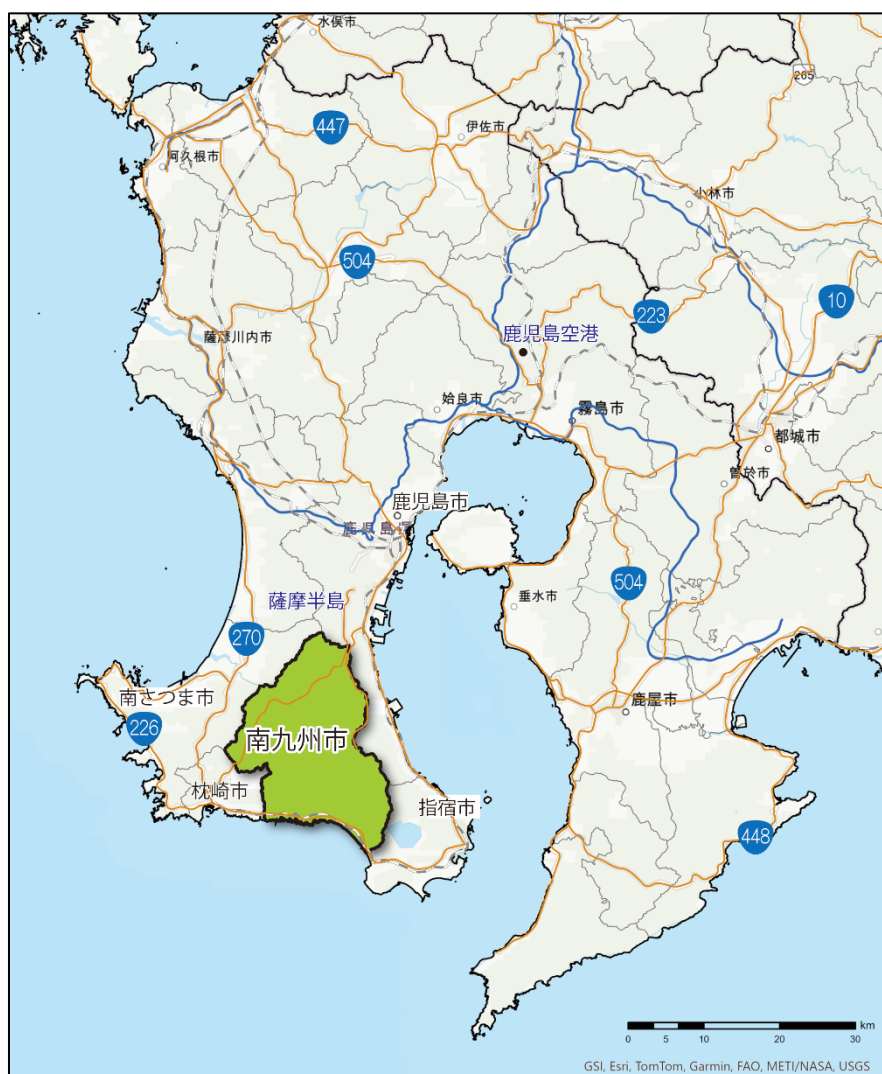
1. 南九州市の概況

南九州市は、鹿児島県の薩摩半島南部に位置し、平成19（2007）年12月1日に穎娃町、知覧町、川辺町の合併により誕生しました。

市の南側は東シナ海に面しており、北東は鹿児島市、東は指宿市、西は枕崎市、及び南さつま市に接しています。本市は南薩地域の中でも広い面積を有し、海沿いの地域と内陸の農業地域が広がる多様な地域構造を形成しています。

このような地理的条件や周辺市町との関係性は、今後の土地利用や都市基盤整備、地域振興を検討するうえで重要な要素となります。また、合併前の穎娃町、知覧町、川辺町の各地域において進められてきたまちづくりを継承しつつ、市全体としての一体性を確保するため、計画的かつ連携を重視したまちづくりを推進していきます。

■南九州市の広域位置

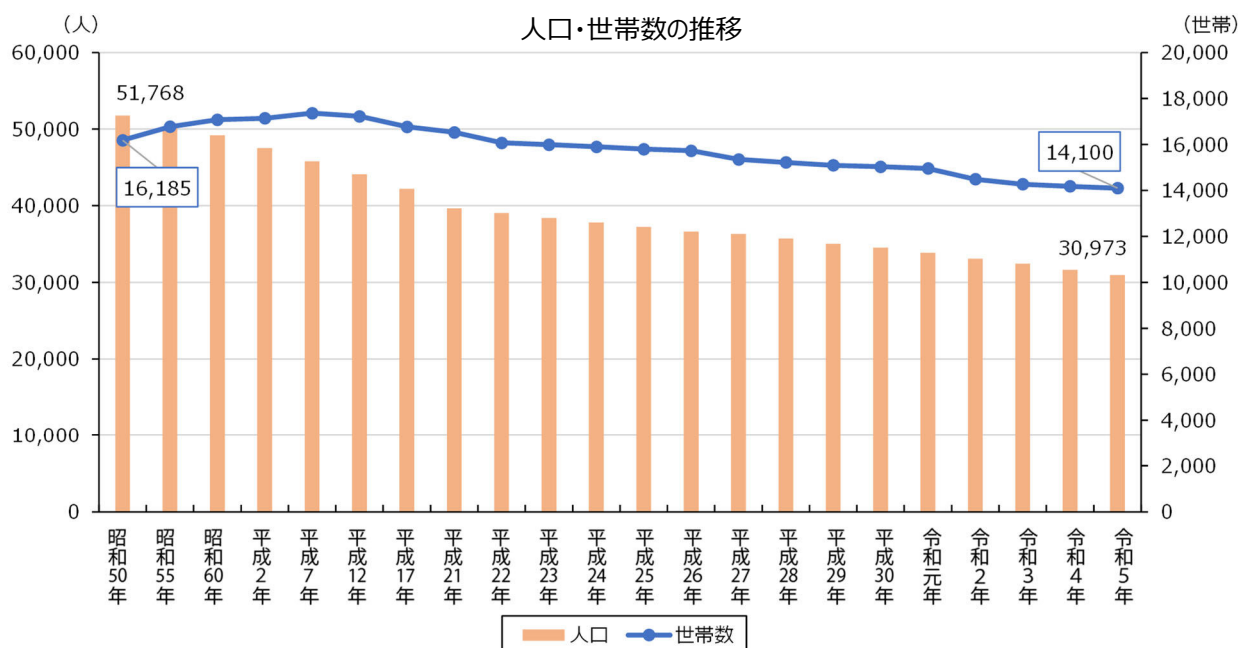


2. 人口・世帯の動向

(1) 人口の推移

本市の人口は、合併時点（平成19年）以前から減少傾向にあり、また、世帯数も平成7年以降、段階的に減少傾向にあります。少子高齢化が進行しており、令和2年の高齢化率は40.1%に達しています。

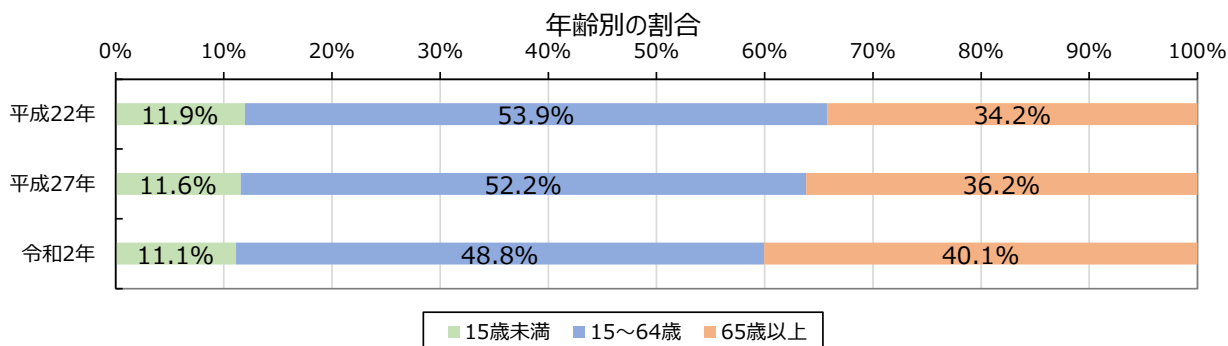
■人口・世帯数と年齢構成の状況



	昭和50年	昭和55年	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年
世帯数	16,185	16,771	17,074	17,137	17,363	17,222	16,769	16,527	16,069	15,992	15,896
人口	51,768	50,261	49,189	47,498	45,792	44,137	42,191	39,676	39,065	38,412	37,814

	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
世帯数	15,796	15,725	15,349	15,217	15,091	15,029	14,956	14,485	14,268	14,181	14,100
人口	37,239	36,622	36,352	35,712	35,029	34,544	33,891	33,080	32,436	31,644	30,973

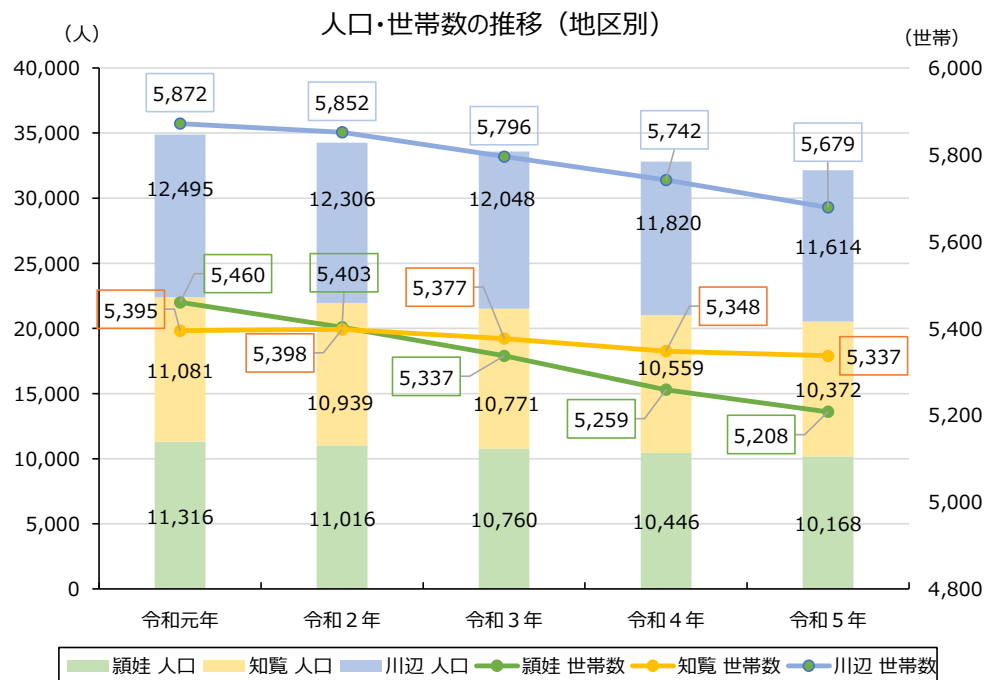
出典：南九州市統計書



	平成22年			平成27年			令和2年		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
15歳未満	2,317	2,344	4,661	2,102	2,101	4,203	1,867	1,817	3,684
15～64歳	10,517	10,517	21,034	9,489	9,490	18,979	7,931	8,207	16,138
65歳以上	5,083	8,269	13,352	5,254	7,890	13,144	5,640	7,607	13,247
平均年齢	48.8	53.6	51.4	50.1	54.7	52.5	51.5	55.8	53.8
高齢化率 (%)	28.4	39.1	34.2	31.2	40.5	36.2	36.5	43.1	40.1

出典：南九州市統計書

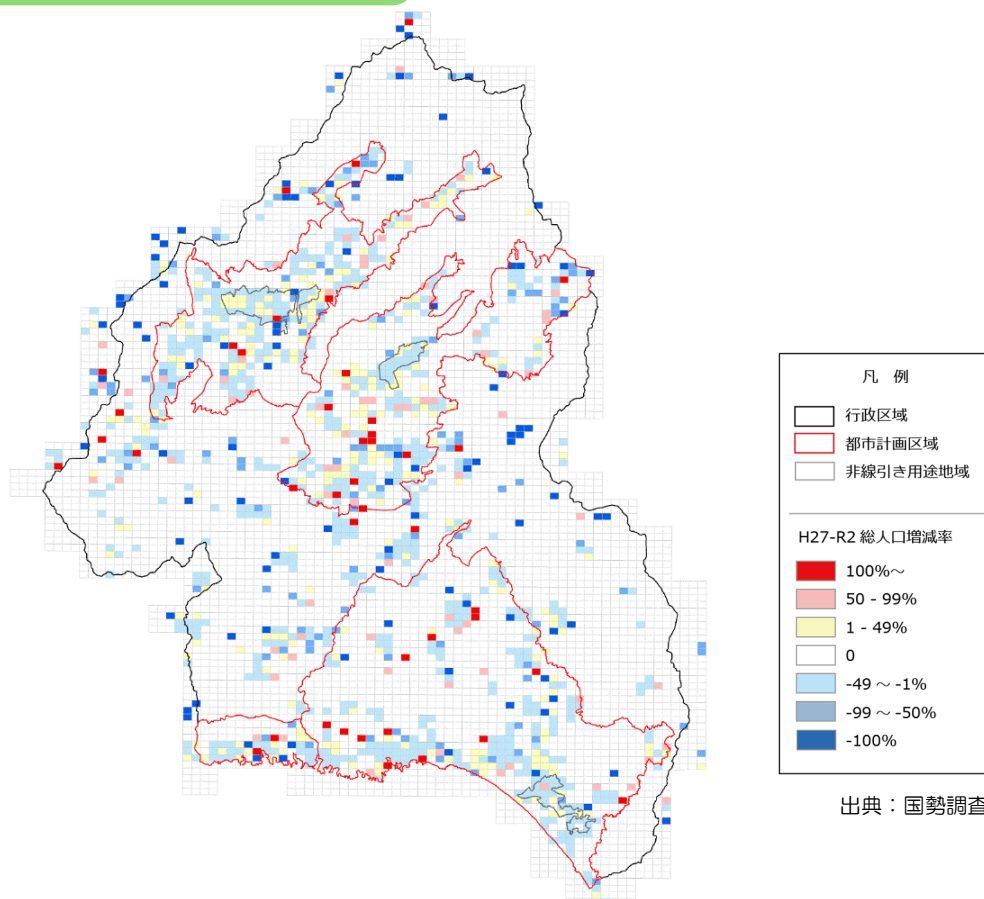
■地域別の状況



	顓娃		知覧		川辺	
	人口	世帯数	人口	世帯数	人口	世帯数
令和元年	11,316	5,460	11,081	5,395	12,495	5,872
令和2年	11,016	5,403	10,939	5,398	12,306	5,852
令和3年	10,760	5,337	10,771	5,377	12,048	5,796
令和4年	10,446	5,259	10,559	5,348	11,820	5,742
令和5年	10,168	5,208	10,372	5,337	11,614	5,679

出典：南九州市統計書

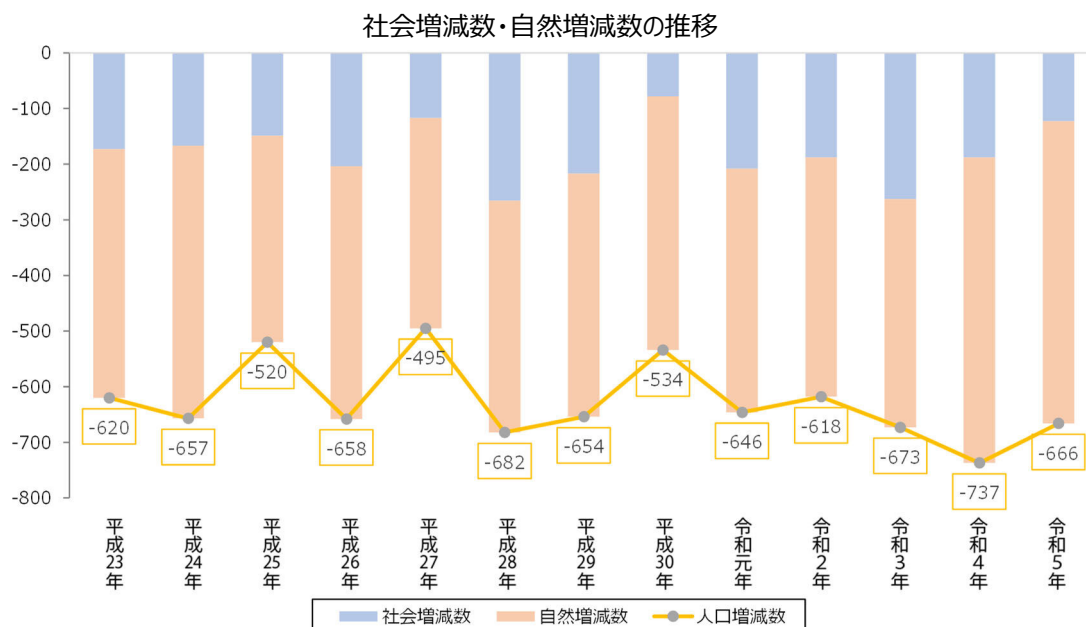
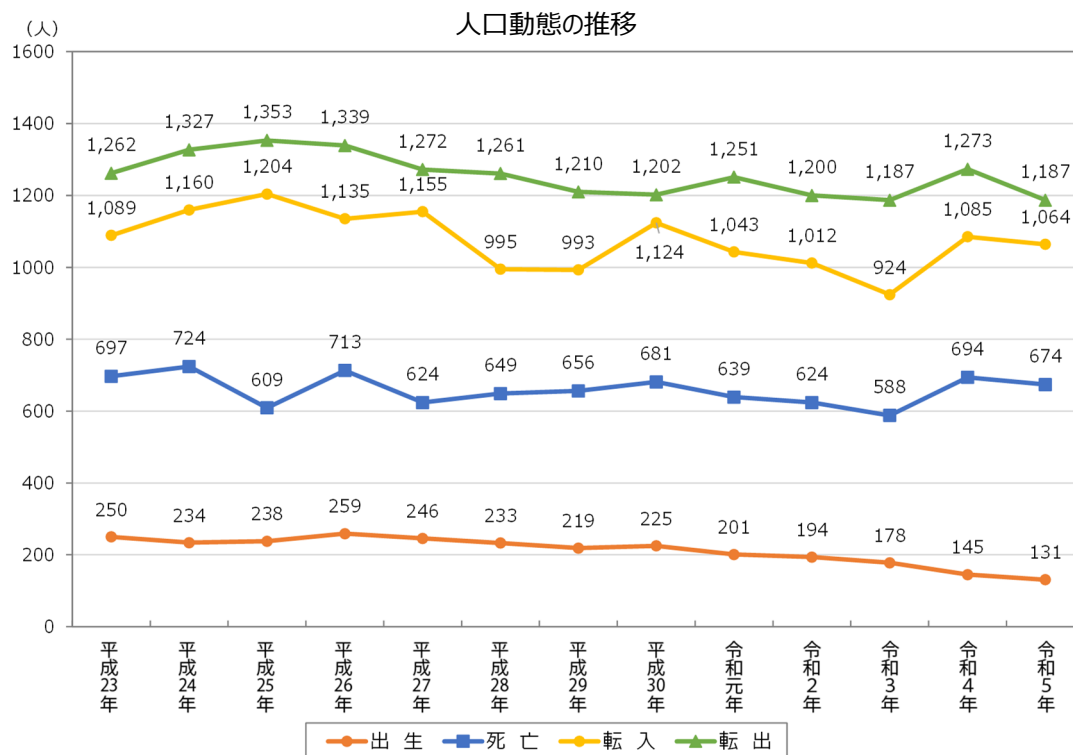
■人口増減の状況(平成27年－令和2年)



■人口動態の状況

自然増減をみると、死亡数は600～700人程度で推移している一方で、出生数は減少傾向にあり、平成23年の250人から令和5年では131人まで低下しているため、自然減の影響は大きくなっています。

社会増減については、転出数が転入数を上回る状況が続いており、社会減の状態となっています。

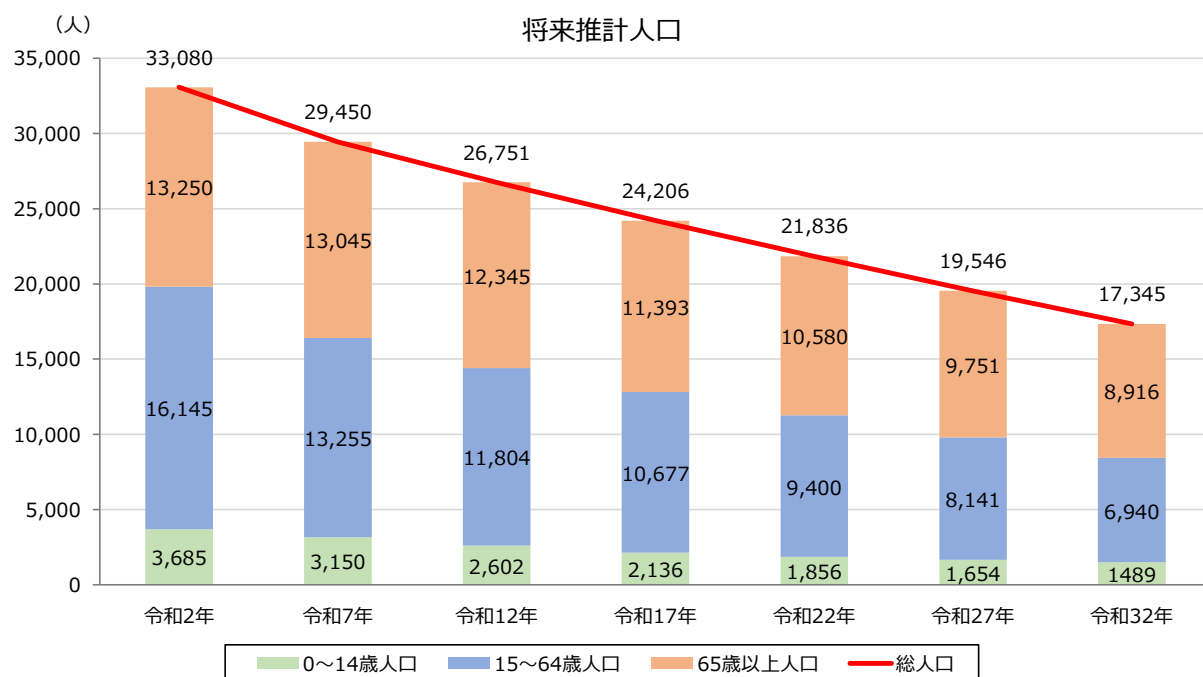


	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
出生	250	234	238	259	246	233	219	225	201	194	178	145	131
死亡	697	724	609	713	624	649	656	681	639	624	588	694	674
計	△ 447	△ 490	△ 371	△ 454	△ 378	△ 416	△ 437	△ 456	△ 438	△ 430	△ 410	△ 549	△ 543
転入	1,089	1,160	1,204	1,135	1,155	995	993	1,124	1,043	1,012	924	1,085	1,064
転出	1,262	1,327	1,353	1,339	1,272	1,261	1,210	1,202	1,251	1,200	1,187	1,273	1,187
計	△ 173	△ 167	△ 149	△ 204	△ 117	△ 266	△ 217	△ 78	△ 208	△ 188	△ 263	△ 188	△ 123
増減	△ 620	△ 657	△ 520	△ 658	△ 495	△ 682	△ 654	△ 534	△ 646	△ 618	△ 673	△ 737	△ 666

出典：南九州市統計書

■将来推計人口

将来推計人口は、今後も人口減少が続き、令和32（2050）年には約17,000人程度まで減少すると推計されています。その際、高齢化率は51.4%に達する状況です。

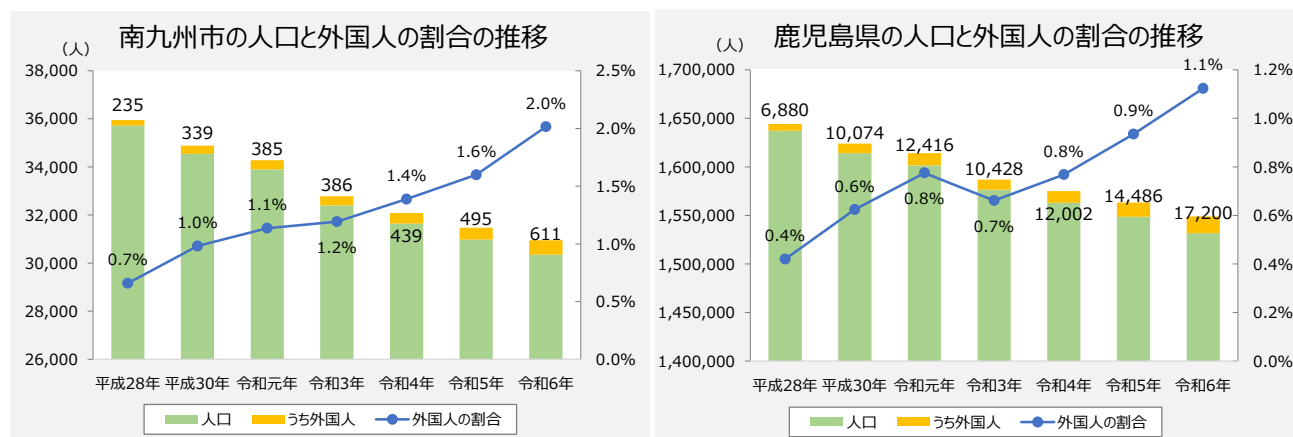


出典：日本の地域別将来推計人口（令和5（2023）年推計）（国立社会保障・人口問題研究所）

	令和2（2020）年		令和7（2025）年		令和12（2030）年		令和17（2035）年		令和22（2040）年		令和27（2045）年		令和32（2050）年	
	人口	構成率	人口	構成率	人口	構成率	人口	構成率	人口	構成率	人口	構成率	人口	構成率
総人口	33,080	100.0%	29,450	100.0%	26,751	100.0%	24,206	100.0%	21,836	100.0%	19,546	100.0%	17,345	100.0%
0～14歳人口	3,685	11.1%	3,150	10.7%	2,602	9.7%	2,136	8.8%	1,856	8.5%	1,654	8.5%	1,489	8.6%
15～64歳人口	16,145	48.8%	13,255	45.0%	11,804	44.1%	10,677	44.1%	9,400	43.0%	8,141	41.7%	6,940	40.0%
65歳以上人口	13,250	40.1%	13,045	44.3%	12,345	46.1%	11,393	47.1%	10,580	48.5%	9,751	49.9%	8,916	51.4%

■外国人住民の動向

外国人の人口は、人口減少下においても増加傾向にあり、これは鹿児島県全体においても同様の傾向となっています。



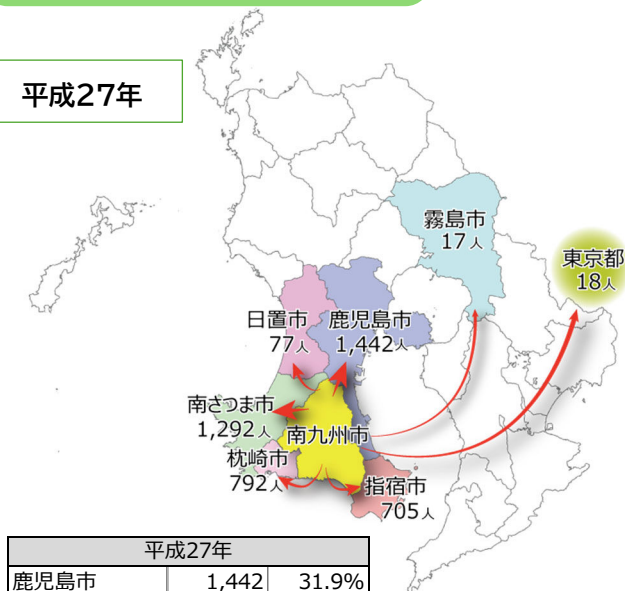
出典：鹿児島県（県人口移動調査）

(2) 通勤・通学の流出入人口の変化

平成27年と令和2年国勢調査より本市の流入・流出人口を比較すると、依然として鹿児島市や南さつま市、枕崎市との結びつきが強い傾向にあります。

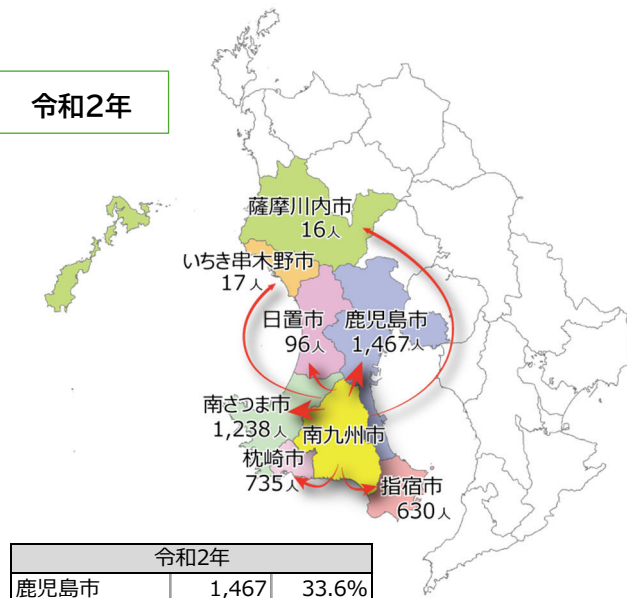
■南九州市からの流出状況

平成27年



平成27年		
鹿児島市	1,442	31.9%
南さつま市	1,292	28.6%
枕崎市	792	17.5%
指宿市	705	15.6%
日置市	77	1.7%
東京都	18	0.4%
霧島市	17	0.4%
その他	174	3.9%
合計	4,517	100%

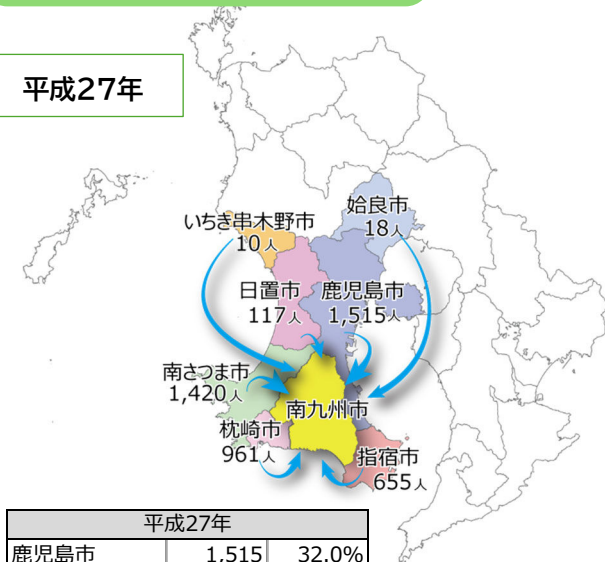
令和2年



令和2年		
鹿児島市	1,467	33.6%
南さつま市	1,238	28.4%
枕崎市	735	16.8%
指宿市	630	14.4%
日置市	96	2.2%
いちき串木野市	17	0.4%
薩摩川内市	16	0.4%
その他	166	3.8%
合計	4,365	100%

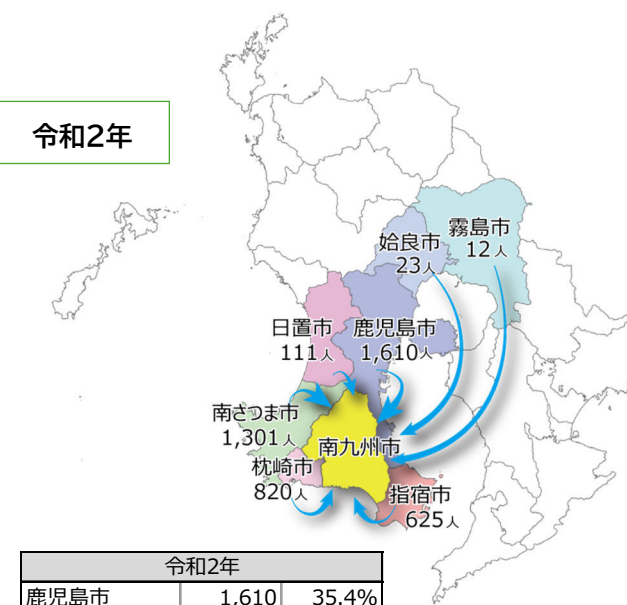
■南九州市への流入状況

平成27年



平成27年		
鹿児島市	1,515	32.0%
南さつま市	1,420	30.0%
枕崎市	961	20.3%
指宿市	655	13.8%
日置市	117	2.5%
始良市	18	0.4%
いちき串木野市	10	0.2%
その他	43	0.9%
合計	4,739	100%

令和2年



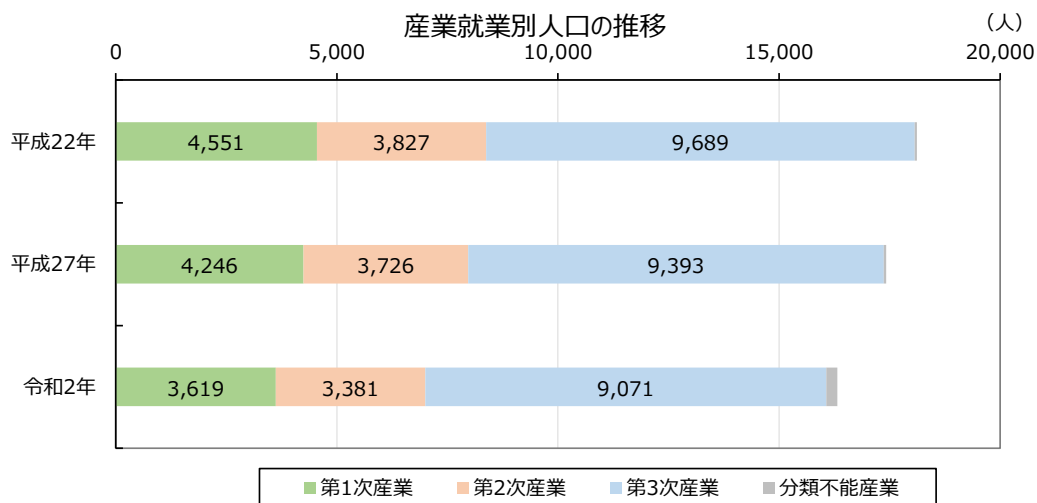
令和2年		
鹿児島市	1,610	35.4%
南さつま市	1,301	28.6%
枕崎市	820	18.0%
指宿市	625	13.7%
日置市	111	2.4%
始良市	23	0.5%
霧島市	12	0.3%
その他	44	1.0%
合計	4,546	100%

出典：国勢調査

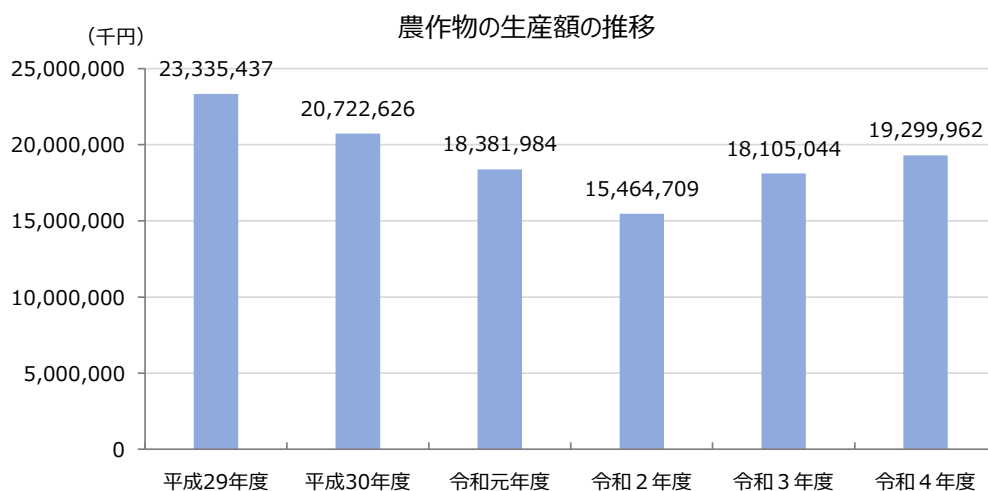
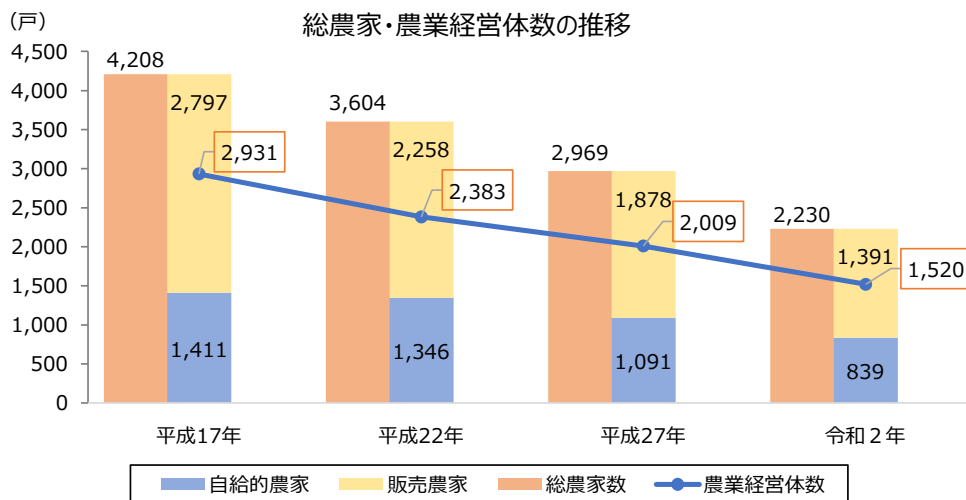
3. 産業・観光の動向

(1) 産業活動

本市の産業就業別人口は、いずれも人口減少の影響を受けて従業者が減少しており、生産額も停滞傾向にあります。農業では、農家数が減少傾向にある一方、農産物の生産額は、令和2年以降は増加傾向に転じています。

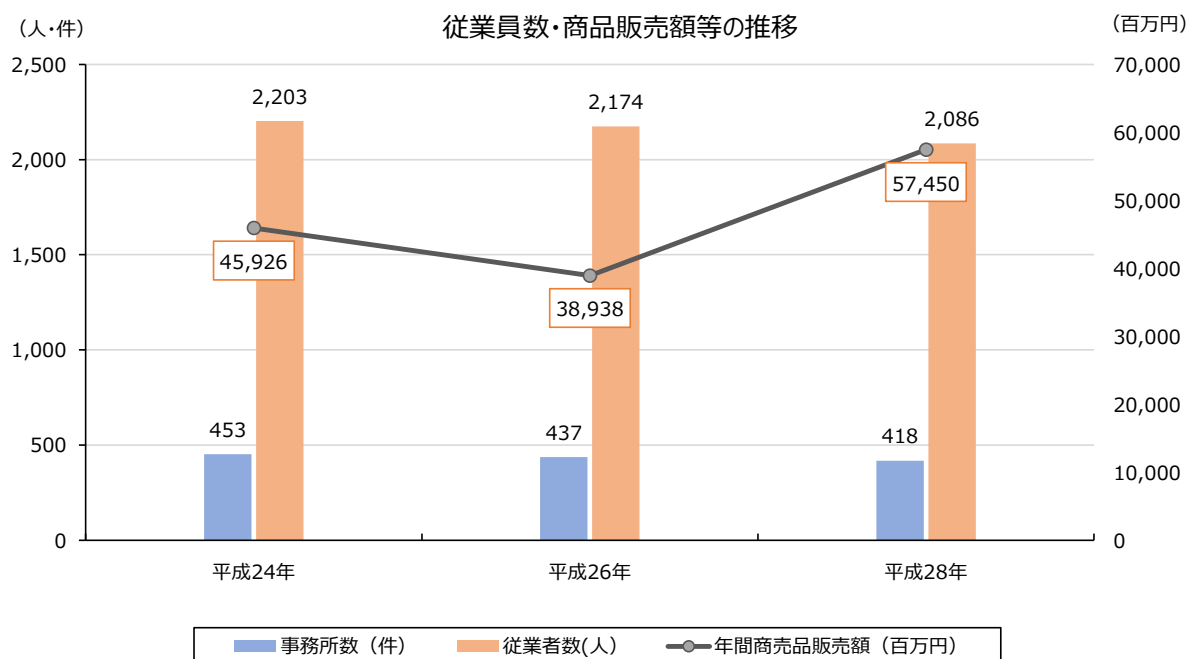


■ 農業の状況



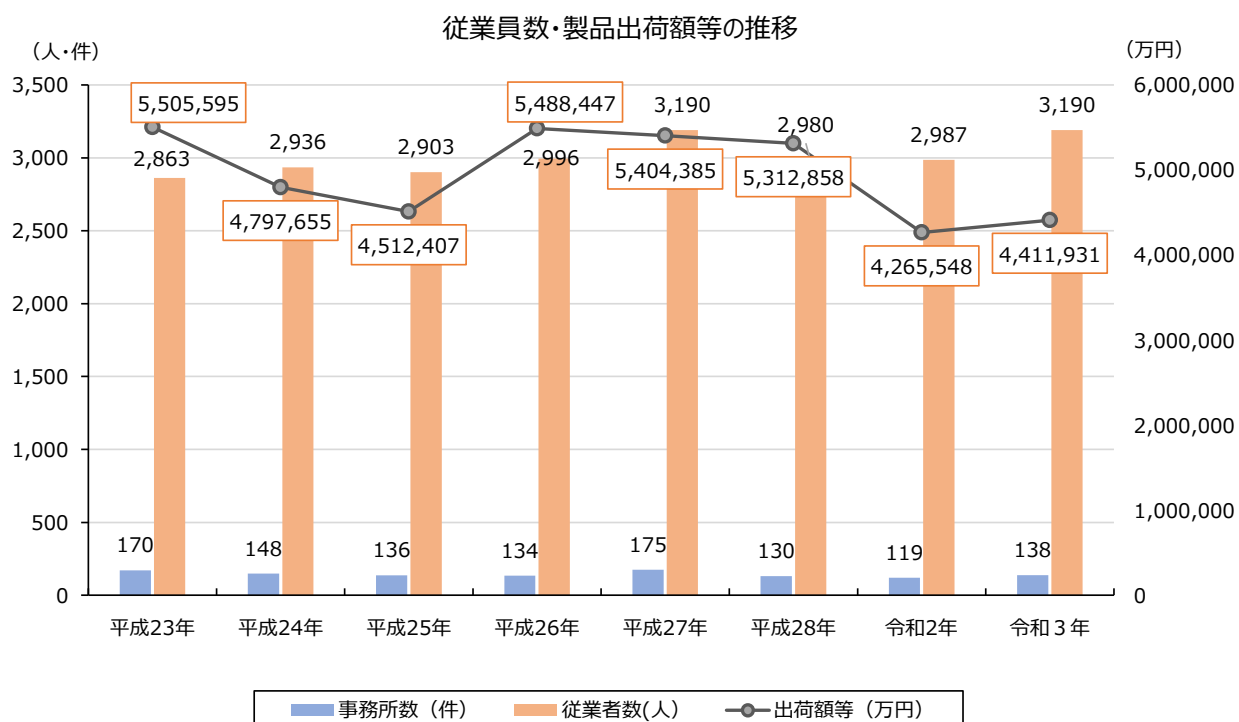
出典：南九州市統計書

商業の状況



出典：南九州市統計書

工業の状況

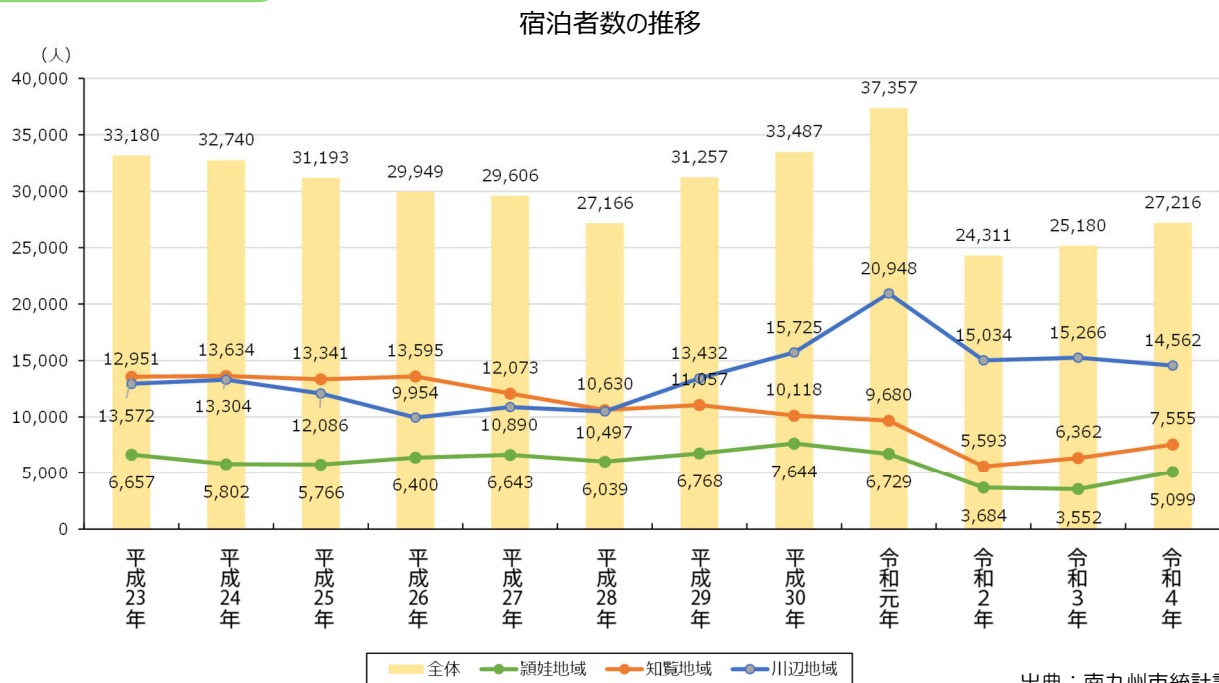


出典：南九州市統計書

(2) 観光動向

観光については、宿泊者数の推移を見ると、これまで年間約3万人程度で推移していましたが、令和2年の新型コロナウイルス感染症拡大の影響により減少しました。現在は徐々に回復傾向にあるものの、以前の水準までには回復していない状況となっています。

■宿泊者数の状況



■市内の主な観光地



番所鼻自然公園【顚娃】



知覧特攻平和会館【知覧】



清水岩屋公園【川辺】

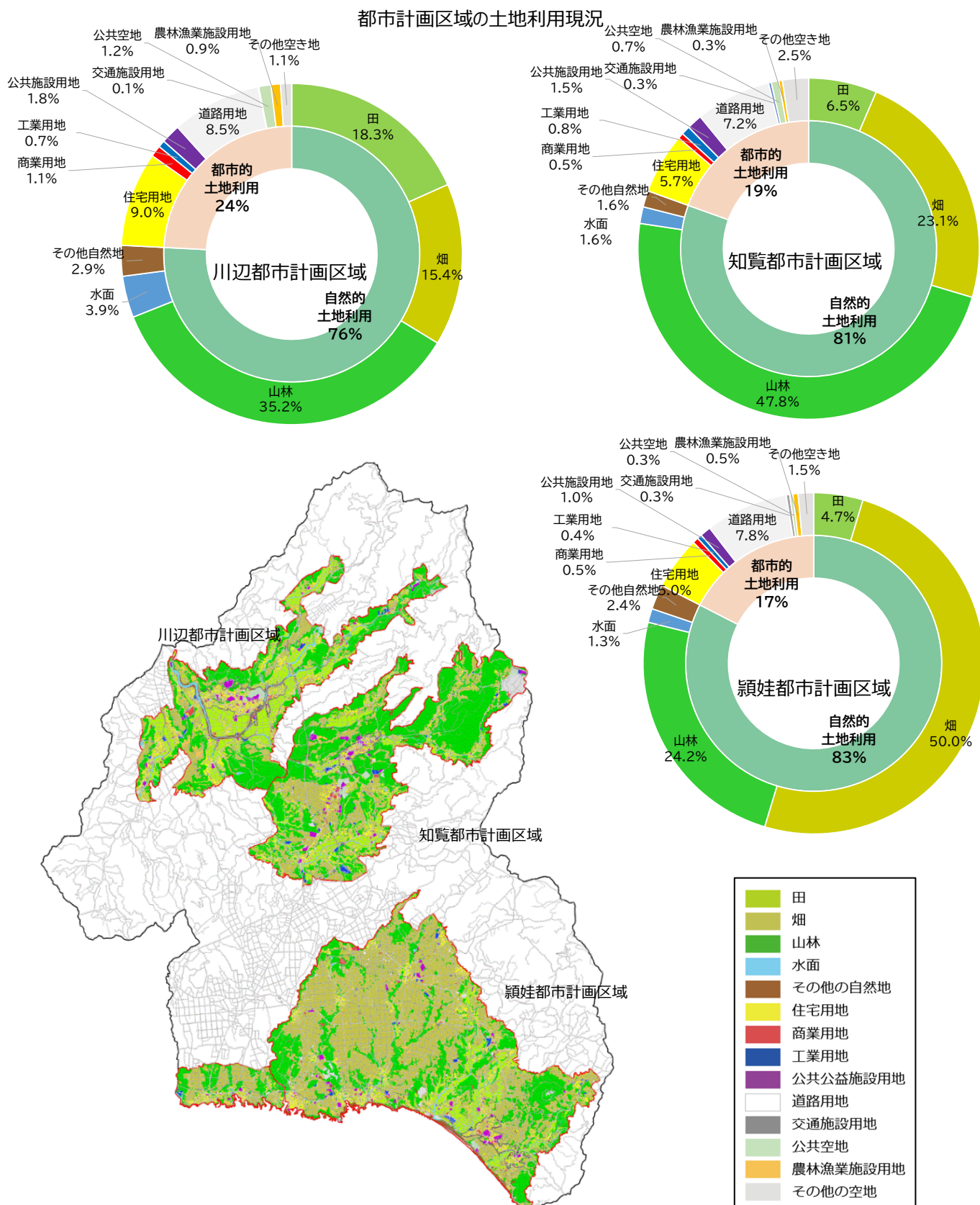


知覧武家屋敷庭園群【知覧】

4. 土地利用の状況

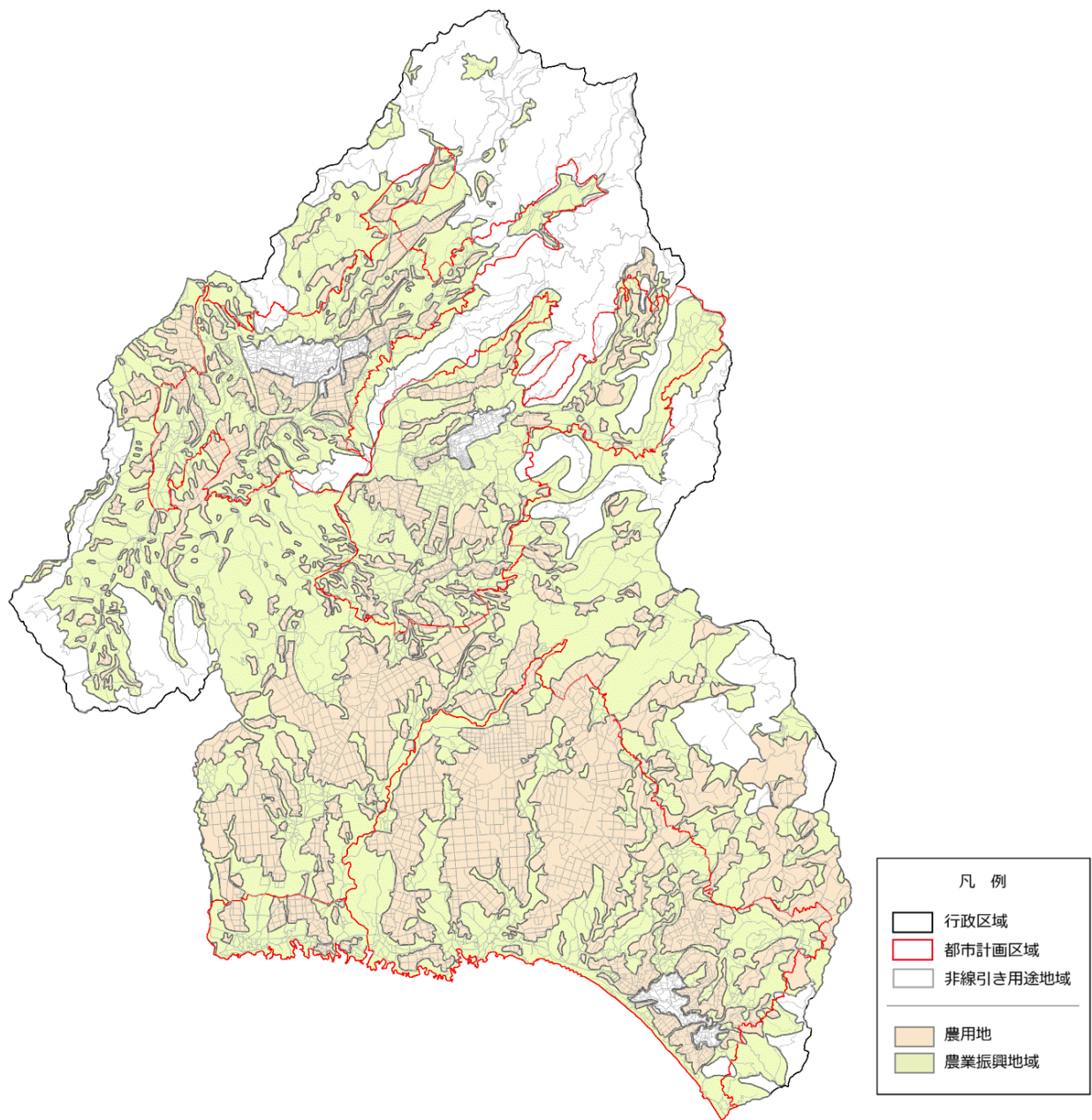
(1) 都市計画区域の土地利用

都市計画区域全体の現況土地利用を見ると、農地や山林などの自然的土地利用が約8割を占めています。一方、都市的土地利用については、住宅用地が約6%、商業用地および工業用地がそれぞれ約1%となっています。



(2) 農用地・農業振興地域

本市における農用地および農業振興地域の分布状況を以下に示します。



出典：国土数値情報ダウンロードサイト

図 農用地・農業振興地域

5. 都市施設・都市基盤の状況

(1) 都市計画区域

南九州市の都市計画区域は、瀬谷地域、知覧地域、川辺地域のそれぞれに指定されています。下図は、本市における都市計画区域の位置と分布を示したものです。

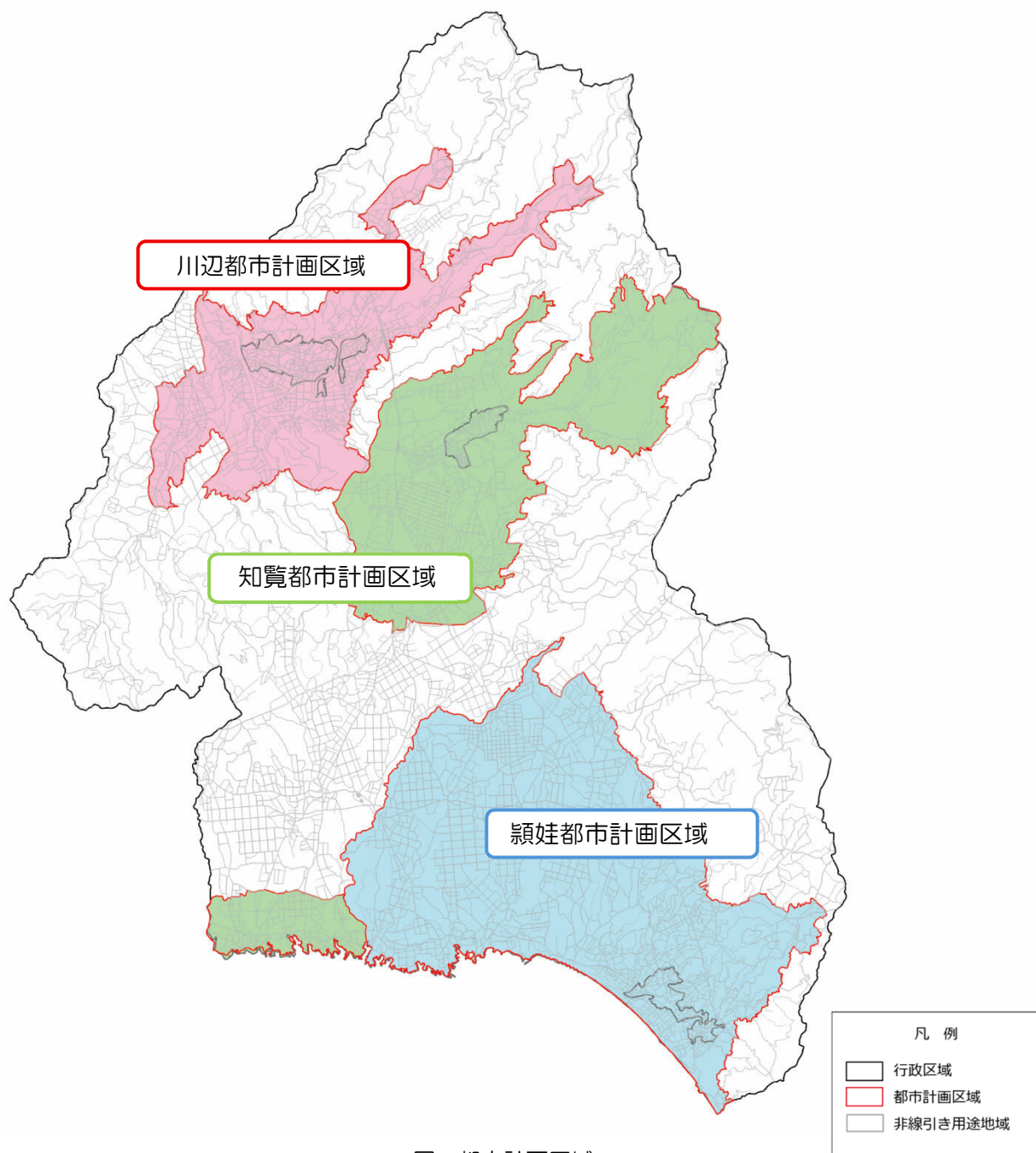


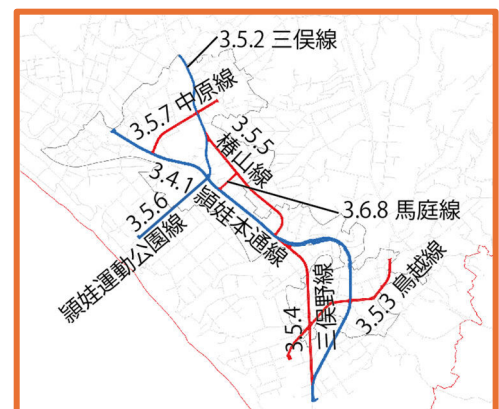
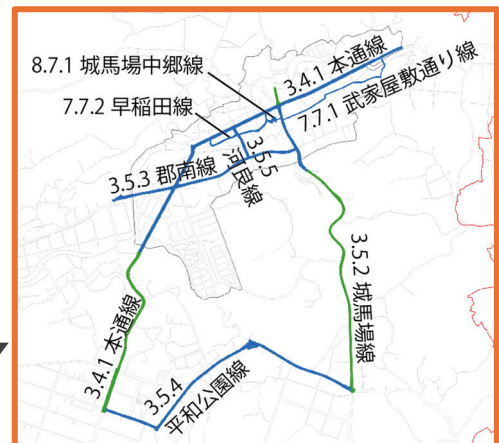
図 都市計画区域

出典：南九州市都市計画基礎調査_R5

(3) 都市計画道路

表 都市計画道路の整備状況

川辺 都市計画 区域	3・4・1	川辺本通線	整備済区間
	3・4・2	本町線	計画中区間
	3・5・3	前田馬場線	整備済区間
	3・5・4	中学校通線	整備済区間
	3・5・5	中通線	整備済区間
知覧 都市計画 区域	3・4・1	本通線	整備済/事業中区間
	3・5・2	城馬場線	整備済/事業中区間
	3・5・3	郡南線	整備済区間
	3・5・4	平和公園線	整備済区間
	3・5・5	河良線	整備済区間
	7・7・1	武家屋敷通り線	整備済区間
	7・7・2	早稲田線	整備済区間
	8・7・1	城馬場中郷線	整備済区間
穎娃 都市計画 区域	3・4・1	穎娃本通線	整備済区間
	3・5・2	三俣線	整備済区間
	3・5・3	鳥越線	計画中区間
	3・5・4	三保野線	計画中区間
	3・5・5	椿山線	計画中区間
	3・5・6	穎娃運動公園線	整備済区間
	3・5・7	中原線	計画中区間
	3・6・8	馬庭線	計画中区間



整備済区間	— (Blue line)
事業中区間	— (Green line)
計画中区間	— (Red line)

図 都市計画道路

出典：南九州市都市計画基礎調査_R5

(4) 都市計画公園

表 種別都市計画公園の状況

名称	種類	種別	住所	開設年月日	面積(ha)
諏訪運動公園	都市公園	近隣公園	川辺町平山7354番地	昭和49年7月1日	19.0
両添公園	都市公園	運動公園	川辺町野崎3725番地	昭和61年3月31日	1.0
岩屋公園	都市公園	総合公園	川辺町清水3882番地	昭和61年6月30日	13.2
塘之池公園	都市公園	総合公園	川辺町下山田5157番地	平成17年4月1日	15.9
知覧平和公園	都市公園	総合公園	知覧町郡17919番地1	昭和55年3月31日	23.2
西塩屋公園	都市公園	街区公園	知覧町塩屋28953番地1	昭和57年3月31日	0.1
穎娃運動公園	都市公園	運動公園	穎娃町牧之内2606番地	昭和54年9月28日	15.2
手蓑マザーパーク	普通公園	街区公園	知覧町郡9109番地	平成11年3月31日	0.3
霜出マザーパーク	普通公園	街区公園	知覧町西元4170番地3	平成11年3月31日	0.3
南部マザーパーク	普通公園	街区公園	知覧町塩屋28830番地1	平成11年3月31日	0.2
立山ポケットパーク	普通公園	街区公園	知覧町西元10371番地1	平成11年3月31日	0.3
聖ヶ浦ポケットパーク	普通公園	街区公園	知覧町南別府23593番地3	平成11年3月31日	0.1
瀬平公園	普通公園	風致	穎娃町郡10452番地4	昭和29年4月1日	1.5
番所公園	普通公園	風致	穎娃町別府5202番地2	昭和40年12月1日	13.0
戸柱公園	普通公園	風致	穎娃町別府2969番地	昭和41年6月8日	10.0
大野岳公園	普通公園	風致	穎娃町郡4176番地	昭和40年9月18日	9.0
知覧テニスの森公園	普通公園	地区公園	知覧町郡9126番地3	平成6年4月1日	4.8

出典：南九州市オープンデータカタログサイト（R4年時点）

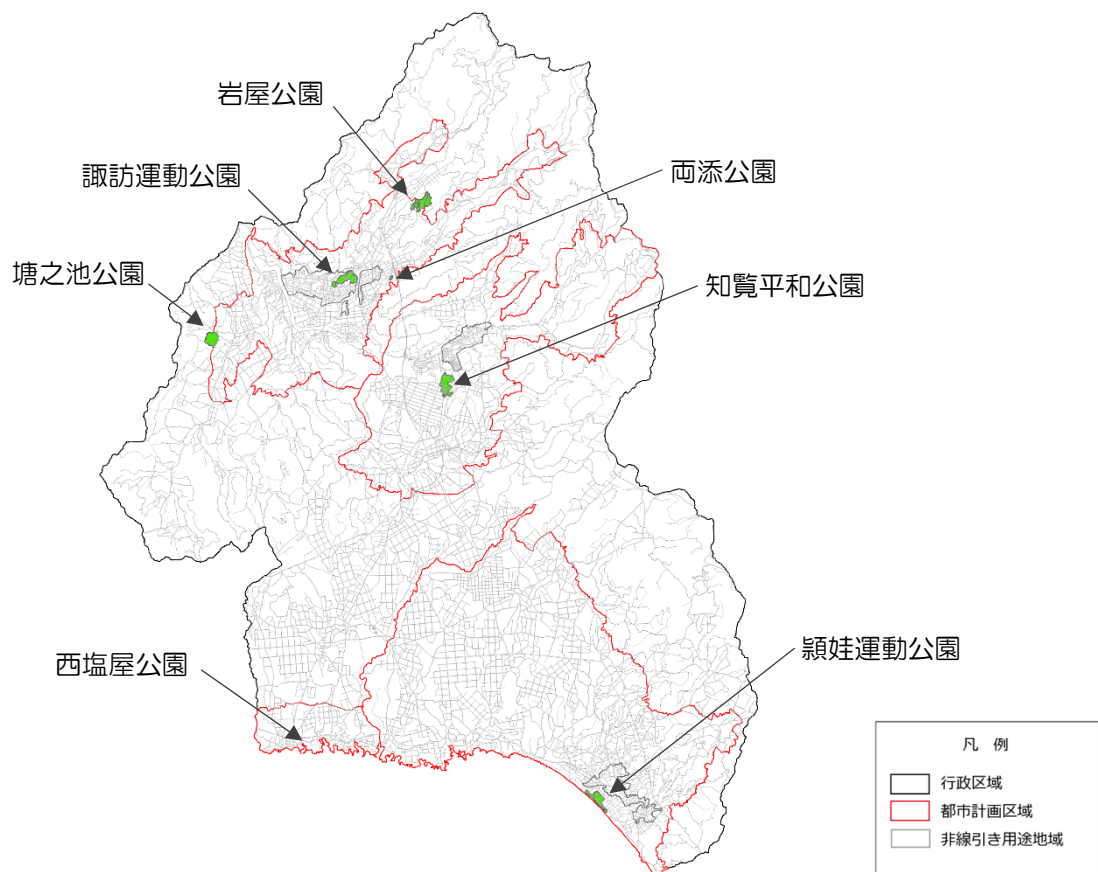


図 都市計画公園

出典：南九州市都市計画基礎調査_R5

(5) 公共下水道

表 令和5年度の生活排水処理状況

単位：人，％

区 域	計画区域人口	接続人口	接続率
農業集落排水 川辺東部地区	696	655	94.1
農業集落排水 知覧垂水地区	222	213	95.9
農業集落排水 知覧瀬世上地区	58	58	100.0
公共下水道 知覧中央処理地区	3,857	3,634	94.2
合併処理浄化槽設置者（潁娃地区）	10,003	6,253	62.5
合併処理浄化槽設置者（知覧地区）	6,212	4,267	68.7
合併処理浄化槽設置者（川辺地区）	10,773	8,556	79.4
合 計	31,821	23,636	74.3

注：人口数は令和6年3月末現在。

資料：市民生活課・建設水道課

表 令和5年度の給水人口と給水量

	給水人口 (人)	給水普及率 (%)	給水件数 (件)	年間配水量 (m ³)	1日平均配水量 (m ³)
南九州市	31,626	99.57%	18,627	4,215,648	11,518

注：令和6年3月末現在。

資料：建設水道課

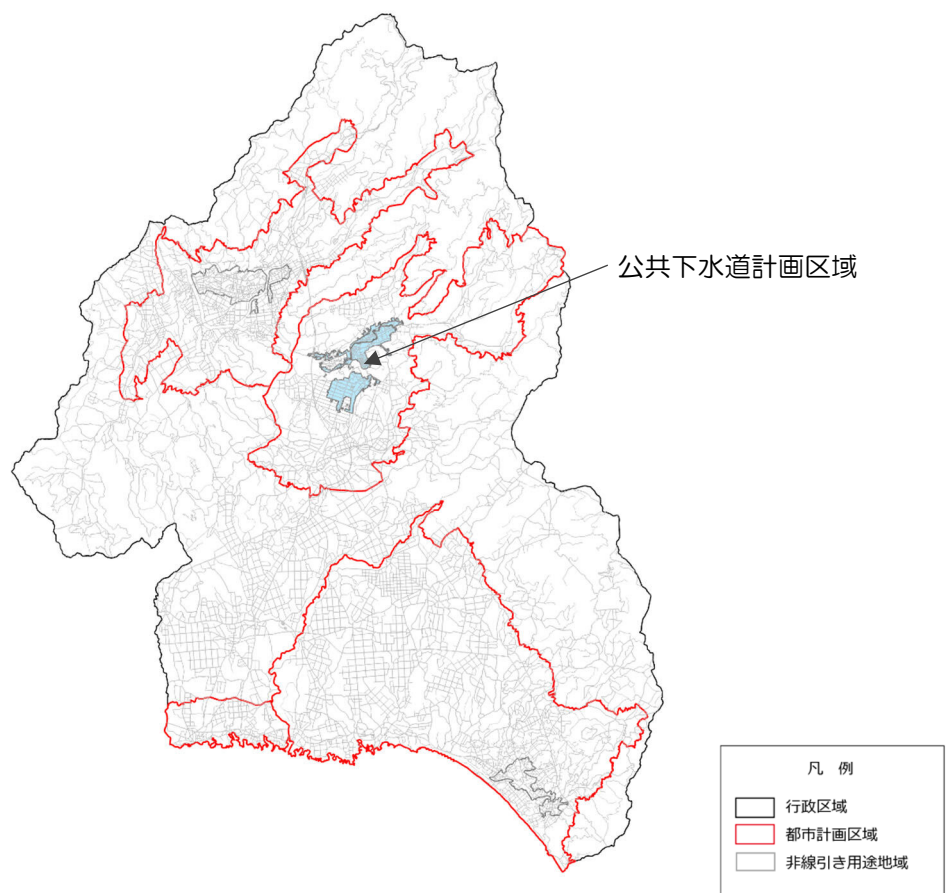
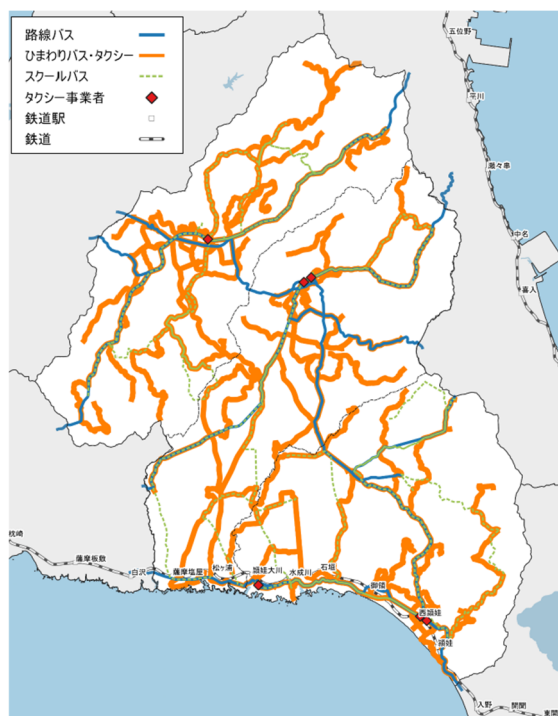


図 公共下水道計画区域

出典：南九州市資料

6. 公共交通の状況

市内の公共交通としては、ＪＲ指宿枕崎線のほか、バス交通として路線バスやコミュニティバス（ひまわりバス）、予約制乗合タクシー（ひまわりタクシー）、タクシー、AI デマンド交通（チョイソコひまわり）があります。その他、小中学校のスクールバス、民間事業者が移送、訪問等のサービス（利用者送迎、商品の宅配、訪問診療）を提供しています。



出典：地域公共交通計画（R6年8月改訂）

路線バスは、鹿児島交通㈱の運行バスが10系統あり、川辺地域を通過し、鹿児島市と枕崎市を結んでいる系統は2系統、ＪＲ指宿枕崎線と並行して、東大川で乗継を行い、枕崎市と指宿市を結んでいる系統は2系統、知覧地域を起終点とする系統は6系統が運行されています。

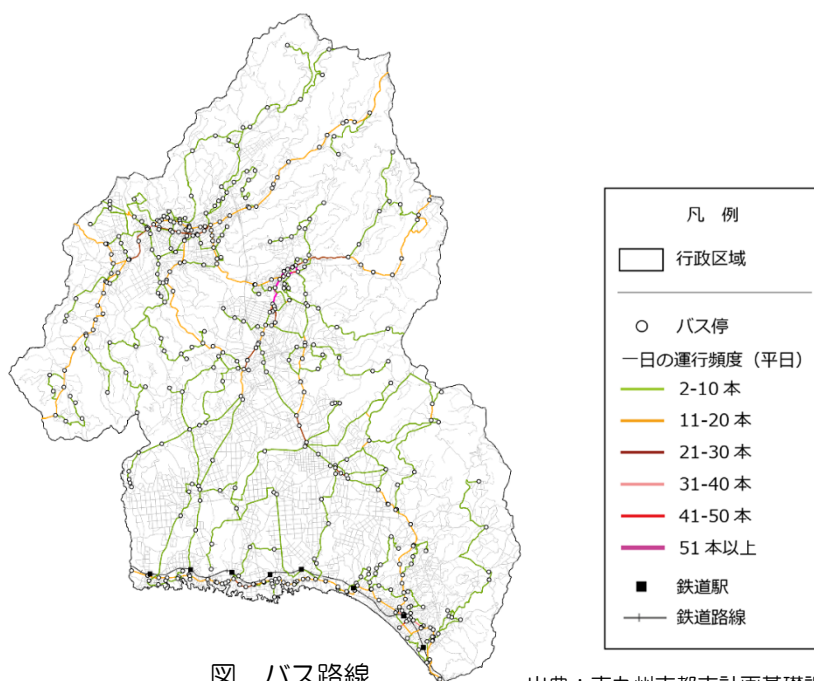


図 バス路線

出典：南九州市都市計画基礎調査_R5

7. 災害リスク

洪水浸水想定については、万之瀬川、永里川、麓川等による浸水が懸念されています。想定最大規模（降雨確率1/1,000）の降雨が発生した場合、河川沿いの一部地域では浸水深が5m以上に達する可能性があり、市街地においてもおおむね3m程度の浸水が想定されています。また、その際の浸水継続時間については、一部の地域で72時間以上となる可能性も懸念されています。

土砂災害については、土砂災害警戒区域が市内各所に指定されており、市街地の縁辺部にも多く見られる状況です。

なお、津波浸水については、颯娃地域の海岸沿いを中心に浸水が想定されています。

■洪水浸水想定区域(想定最大規模)

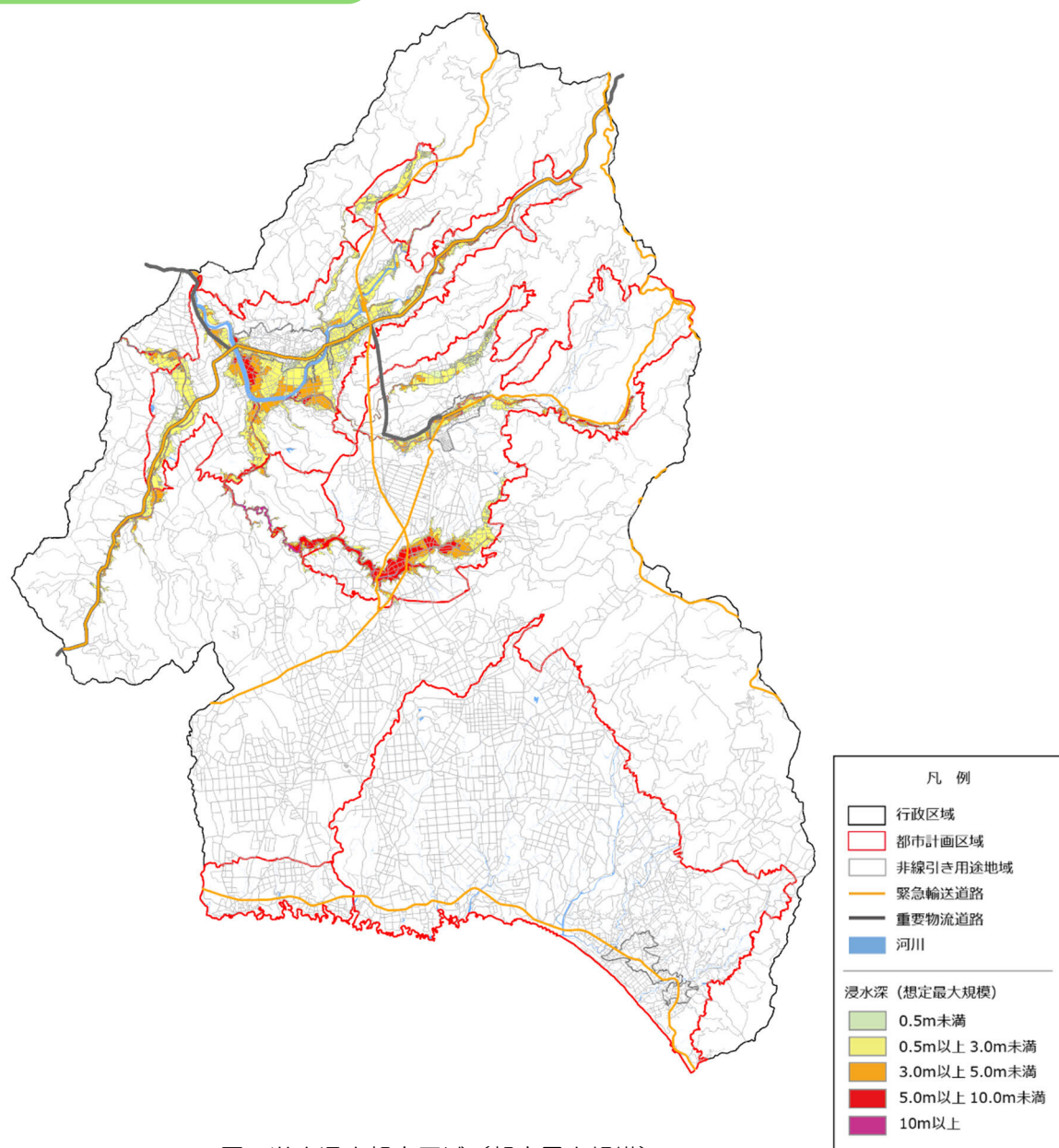


図 洪水浸水想定区域（想定最大規模）

出典：南九州市資料

■土砂災害警戒区域

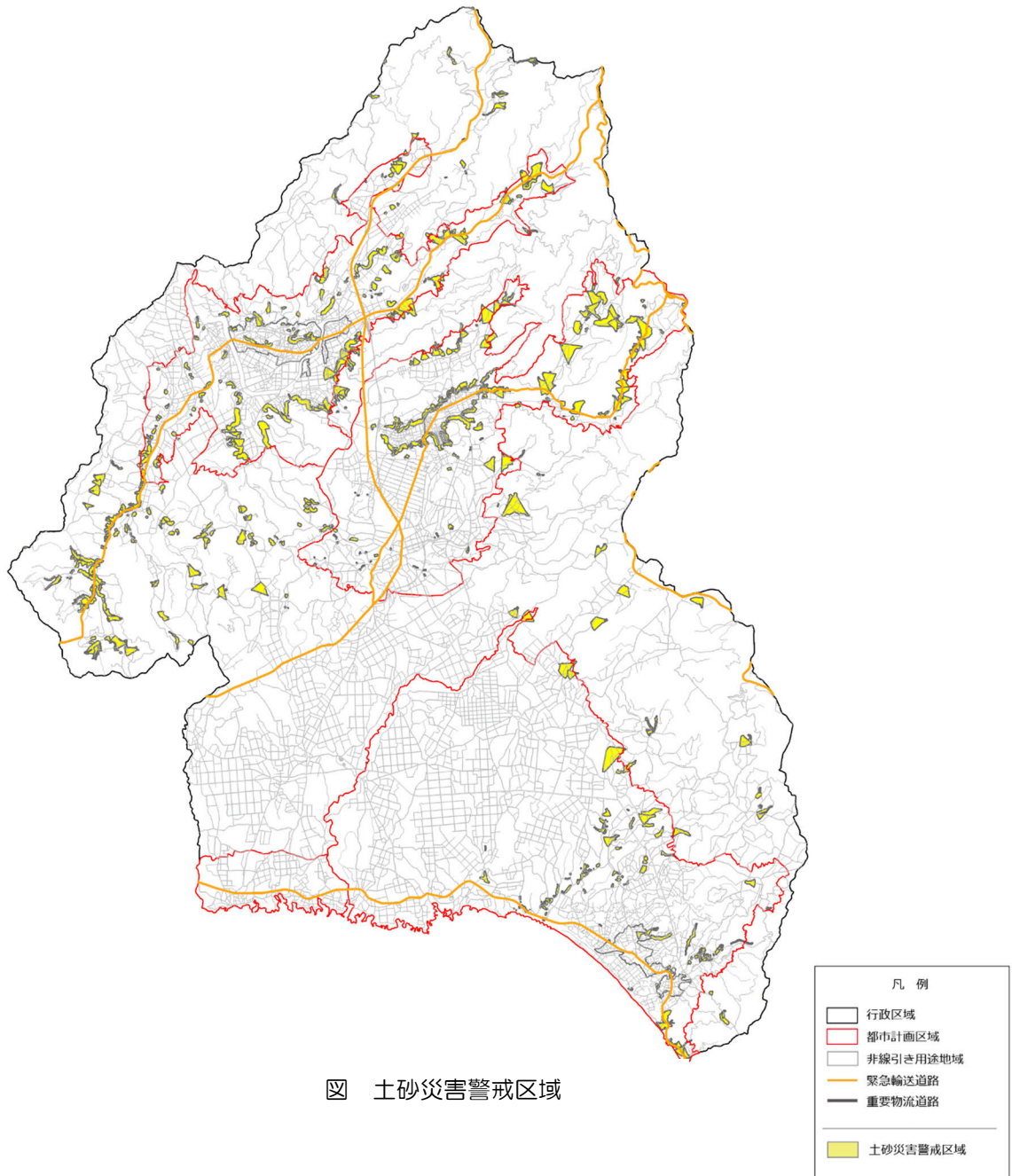


図 土砂災害警戒区域

出典：国土数値情報ダウンロードサイト_最新_令和6年度

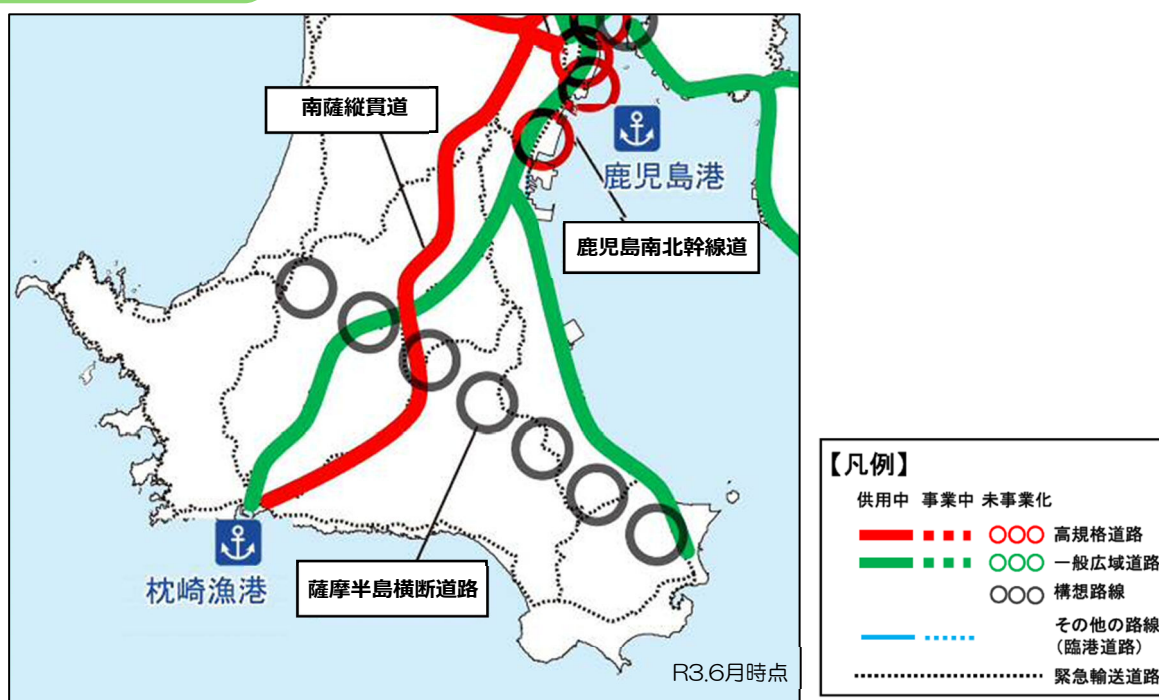
8. 広域的位置づけ

今後、人口減少や少子高齢化の進行に対応する中で、本市のみで公共公益施設の整備や医療・福祉施設の確保、さらにはそれらの維持管理を行っていくことは、次第に困難になることが懸念されています。また、地域の活性化を図るためには、観光交流の拡大なども期待されています。

南薩地域全体を見ると、観光施設や観光資源、大規模小売店舗、病院、福祉施設などが立地しており、さまざまな分野において連携や交流を図っていくことが求められています。

そのため、周辺市との広域行政の推進や観光交流の連携、市民の円滑な移動に資する広域道路交通網の形成、さらには移動手段の確保が重要となっています。広域行政については、ごみ処理、介護保険、消防などの分野において、すでに連携した取り組みが進められています。

■道路ネットワーク



出典：かこしま新広域道路交通計画（R3年6月）

■広域行政

